



# ひろしま 県議会 だより

HIROSHIMA  
Prefectural Assembly

発行／広島県議会  
編集／広島県議会広報委員会

**広島県**

年4回発行

第52号

平成30(2018)年7月

## 6月定例会

- ◆総額5億3,700万円の補正予算を可決
- ◆本会議における質問・答弁(2面)
- ◆常任委員会の動き(3面)
- ◆特別委員会中間報告の概要(4面)

巻頭写真は平成29年度広島県高等学校写真展に出品された、県立高陽高等学校 田村瑠夏さんの作品「あなただけを見つめて」  
撮影場所：国営備北丘陵公園(庄原市)

この度の西日本豪雨災害により亡くなられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。本県議会は、被災された皆様の一日も早い生活再建、被災箇所を早期復旧が図られるよう、県当局と一体となって対応してまいります。

### 六月 定例会の概要

#### 補正予算など十七議案を可決、同意並びに承認等

広島県議会は、六月定例会を六月二十一日から七月二日までの十二日間の会期で開きました。

今回の定例会では、「平成三十年度一般会計補正予算」や「二〇二五年国際博覧会の誘致に関する決議」などの議案について審議を行いました。

また、県政が直面する諸課題について、六人の議員が一般質問を行い、各常任委員会においては、付託された議案などについて審査・調査を行いました。

審議の結果、十七議案について原案のとおり可決、同意等しました。最終日には、副議長選挙を行い、宮副議長を選任したほか、常任委員会及び議会運営委員会の委員を選任しました。また、紙屋町周辺地区活性化推進特別委員会を設置しました。

#### 議決の状況等

##### 平成三十年度補正予算

可決 一般会計 一件  
特別会計 三件

##### 条例案

可決 広島県手数料条例及び県立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例など 四件

##### 人事案件

同意 広島県公安委員会委員の任命についてなど 二件

##### その他の議案

可決 承認 調停を成立させることについてなど 二件

##### 諮問

退職手当支給制限処分に係る審査請求について(棄却すべきである)

##### 決議案

可決 二〇二五年国際博覧会の誘致に関する決議

##### 意見書案

可決 地方財政の充実・強化を求める意見書など 三件

##### 請願

採択 広島県及びその関係機関における行政書士法の遵守並びに行政手続法及び行政手続条例の遵守に関する請願

#### 議決された主な議案

##### 平成三十年度広島県補正予算

当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、「欲張りなライフスタイル」の実現に向け、時機を逃さず対応するために、総額五億三千七百万円の補正予算を可決しました。

後発医薬品の使用促進 八百万円

国民健康保険の安定的な運営の推進 二千万円

自然公園施設等の修繕・撤去 一億一千万円

特別支援学校の教室増設 三億九千九百万円

##### 広島県手数料条例及び県立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

地域通訳案内士制度の導入に伴う登録手数料を新設しました。また、遺伝子情報に関する検査項目の追加に伴い、県立病院における先進医療及び遺伝子診療に関する検査技術料の上限額を改正しました。

##### 【地域通訳案内士とは】

県が行う研修を受講し、試験に合格した歴史・地理・文化等の現地情報に精通した方々が、知事の登録を受けて、地域通訳案内士となります。県内に限って有償で外国人に付き添い、外国語を用いて旅行に関する案内をすることができます。

各議案に対する議員の表決態度(賛否)は、ホームページで公表しています。

広島県議会

検索

→ 本会議情報

→ 議案等審議結果

#### 〈新副議長紹介〉



第108代副議長 宮 政利  
昭和33年9月25日生  
〈呉市選出〉5期

#### ▼6月定例会日程 (平成30年6月21日～7月2日)

6月21日	本会議 開会、提案理由説明など
6月22日	全員委員会 提案事項の説明など
6月25日・26日	本会議 一般質問など
6月27日	各常任委員会 付託議案の審査など
7月2日	本会議 委員長報告、議案の採決など、閉会

# 県政に関する質問から (本会議における質問・答弁)

紙面の都合上、1人2問掲載しています。その他の質問も、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。



6月25日 一般質問(要旨)

## 繊維産業をモデルとした産業振興策



自民議連  
出原昌直 議員  
(福山市)

**問** 世界に誇る備後地域の繊維産業について、人材確保や事業承継対策の振興策をモデル的に実施し、その取り組み成果を他の産業に波及させていくことについて、所見を伺う。

**答** 繊維産業については、地元自治体や業界団体、関連企業と連携を図りながら、課題やニーズを踏まえて、人材確保や事業承継に向けた効果的な取り組みを検討する。

また、人材不足が顕著な運輸業界を対象に実施している人材確保対策など特定産業に対するモデル事業等の手法も活用しながら、地域の持続的な発展を目指し、産業振興に積極的に取り組む。

## 県立高等学校の入学定員等

**問** 今年十一校で入学定員が減少し、戸手高校では受検倍率が大きく上昇した。定員と生徒のニーズの乖離、定員の公表時期が遅すぎるなどによるものと考えられるが、所見を伺う。

**答** 受検倍率は、入学定員を變更していかない高校においても上昇しており、地域の生徒数の増減や中学校の進路指導など様々な要因が影響するものと考えている。

今後とも、児童生徒数の増減や進路指導状況を的確に把握・分析することにより、適切な入学定員の策定に努める。入学定員の公表については、さらなる前倒しの可能性を検討していきたい。

## 県立高等学校の入学定員

用語解説

毎年度、中学校生徒数の増減や近年の入学定員増減の状況等を踏まえて設定。入学定員を増減を行う学校は、生徒の通学実績や志願者数の見込みなどを踏まえて決定し、9月頃に公表。

## 広島港出島地区の物流機能強化



民主県政会  
岩下智伸 議員  
(安芸郡)

**問** 出島地区コンテナヤードの使用率は最大限まで高まっている。今後、国際競争力強化に向け、物流課題をどのように解決するのか。

**答** 広島港国際コンテナミナルは、将来的に拡張を計画しているが、当面は、コンテナヤードの改良などにより保管能力を強化する。

また、現コンテナターミナルの背後で現在埋立中の物流用地の段階的な整備を検討するなど、早期の物流機能強化を図る。

さらに、広島港の東西方向の物流線を強化するため、臨港道路廿日市草津線の四車線化事業に取り組む。

## 「モデルベース開発の聖地」の構築

**問** 東広島市に「ひろしまデジタルイノベーションセンター」を開設し、必要なツールを備え人材育成を始めているが、首都圏などからの企業誘致をはじめ、どのように推進していくのか。

**答** 本県の基幹産業である、ものづくり産業のデジタル化のさらなる推進に向け、センターにおける研修メニューの充実など支援体制をさらに強化する。

IT企業をターゲットとした企業誘致活動など様々な施策を、地元自治体を含む関係機関と連携しながら積極的に展開することで、多様な人材や企業の集積を加速させる。

## モデルベース開発

用語解説

航空宇宙分野や自動車分野で先行採用され、コンピューター上でシミュレーションすることで開発速度や品質の向上が可能となる。日本のものづくりの切り札になると注目されている。

## 教員不足への対応



公明党  
下西幸雄 議員  
(呉市)

**問** 県内の小中学校では、教員の大量退職に加え、新規採用が追いついていない。景気回復が続く民間への就職に人気が集まる中、今後どのように教員の質と量を確保するのか伺う。

**答** 当面の教員確保として、経験者や希望者の掘り起こし、求人情報サイトの活用などに取り組んでいる。質の向上についても、採用後の指導力の向上に関する研修の実施などに取り組んでいる。

今後、民間企業から人材確保の手法などの意見を求め、新たな確保策を検討するほか、教員養成課程を持つ大学に本県の求める教職員像を示すことで、より多くの優秀な人材の確保に努める。

## 安芸灘地域の振興

**問** 安芸灘大橋の早期無料開放こそが、地域の活性化に最も有効であると考えられるが、さらなる振興策の展開に向け、今後、呉市と連携してどのように取り組むのか。

**答** 本年四月に開催した呉市長との「県・市連携会議」において、県と市で協議の場を設けることで一致し、検討会議を設置した。この会議では、観光のみならず、農業、漁業の振興や生活環境の改善などの課題を解決するための具体策を検討していく。

今後、具体的な振興策を早期に取りまとめることができるよう取り組んでいきたい。

## 安芸灘大橋

用語解説

平成12年1月に開通した本土と下蒲刈島を結ぶ橋長1,175mの橋。本州四国連絡架橋群を除き、都道府県道に架かる橋の中では、日本最大の吊橋。

## 子供を守るための条例整備



自民会  
渡辺典子 議員  
(広島市安佐北区)

**問** 「自画撮り画像」を要求する行為に罰則を設ける条例については、東京都では要求行為を摘発しており有効な条例と考えるが、本県において条例化する考えはあるのか。

**答** 自画撮り被害の未然防止については、現在、東京都と兵庫県において、「児童ポルノ等の提供を求める行為」を罰則付きで禁止する条例が施行されている。まずは、全国知事会を通じ、国に対して、法律の規制による自画撮り被害対策を要望したい。

また、先進二都県における条例規制の効果や課題、条例化を検討している他の自治体の状況などを研究する。

## 校長権限の強化など学校運営のあり方

**問** コミュニティ・スクールについて、どのように評価し、取り組もうとしているのか。また、校長権限を強め、自律的な学校運営を進めることについて、所見を伺う。

**答** 子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化しており、学校と地域がさらに連携・協働し、社会総がかりで対応していくことが必要である。

県立学校において、校長のリーダーシップのもと、「開かれた学校」からさらに「開かれた地域」と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める施策について検討する。

## コミュニティ・スクール

用語解説

地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会制度」のことで、校長及び教育委員会が行う学校運営や、教職員人事に一定の権限を持つて関与する合議制の機関。

## 市民参加型のフルマラソン大会の開催



広志会  
佐藤一直 議員  
(広島市中区)

**問** 全国各地で市民参加型のフルマラソン大会が開催されている。広島市だけでは困難と思われるため、広島県主導で開催してはどうかと考えるが、実現可能性について伺う。

**答** 市民参加型のフルマラソン大会は、生涯スポーツの普及や振興のみならず、まちの賑わいや活性化をもたらす、大きな経済波及効果も期待できる。

広島市のスポーツ振興計画において、「ひろしま国際平和マラソン」のフルマラソン化を検討することとされている。

## 広島市中心部のバリアフリー化

**問** 車椅子やベビーカーで紙屋町シャレオを移動すると、バリアフリー化が進んでいないことを実感する。広島市中心部のバリアフリー化の現状をどう認識し、どう改善するのか。

**答** 広島市中心部における歩道化については、広島市が中心となって取り組みが進められている。歩行・移動環境に関しては、歩道の段差解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置、低床低公害バスや低床路面電車の導入などに取り組んでいる。

今後とも、「誰もが集える、にぎわいと交流のまち、ひろしま」が実現するよう、広島市とともに検討してまいりたい。

## 紙屋町シャレオ

用語解説

広島市中区の地下街。路面電車の電停、アストラムラインの駅、バスセンターと連絡し、大規模商業施設等とも接続されている。開設に伴い、地上の紙屋町交差点の横断歩道は廃止された。

## 今後の森林整備のあり方



自民議連  
児玉浩 議員  
(安芸高田市)

**問** 本年五月、森林経営管理法が成立し、新たな制度による森林管理が可能となり、新たな財源が確保される中で、どのように市の支援や市町間の広域的な調整を図り、今後の県の森づくりに施策を展開していくのか。

**答** 新たな制度も活用しながら、これまで森林所有者の特定や意向の確認ができなかった林業経営適地の集約化を図り、新たな財源を活用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立に向けて取り組む。

具体的には、県と市町の実務担当者で構成する「森林経営管理制度実務研究会」を設置し、市町との役割分担や県の支援内容等を検討する。

## 持続可能な社会保障制度

**問** 国の推計では二〇四〇年度に介護給付費が約十五兆円となり、現在の二・四倍に膨らむ。介護保険の給付と負担において対策を検討すべきであるが、どのような取り組みが必要か。

**答** 介護保険制度の給付と負担の適正化は重要な課題であることから、二〇四〇年に向けて、これまでの支える側と支えられる側という固定的な考え方で対応できなくなるとの認識のもと、市町とともに、現在進めている「自助」や「互助」の取り組みと、訪問・通所・施設等の介護保険サービスを一体的かつ効果的に提供できる体制を構築していく。

## 森林経営管理法

用語解説

森林所有者に適切な経営管理を促すため、経営管理の責務を明確化し、市町村が経営管理の委託を受け意欲と能力のある林業経営者に再委託する新たな制度。平成30年5月制定。

# 新常任委員会の構成

最終日の本会議において、委員長、副委員長及び委員が選任されました。

7月2日  
選任

 委員 林 正夫 自民議連 (広島市中区)	 委員 日下 美香 公明党 (広島市中区)	 委員 佐藤 一直 広志会 (広島市中区)	 委員 宮崎 康則 自民議連 (広島市佐伯区)	 委員 平本 徹 自民会 (安芸郡)	 委員長 岩下 智伸 民主県政会 (安芸郡)
 (11人)	 委員 安井 裕典 自民議連 (廿日市市)	 委員 沖井 純 自民議連 (江田島市)	 委員 山下 真澄 民主県政会 (福山市)	 委員 瀧本 実 民主県政会 (広島市佐伯区)	 副委員長 出原 昌直 自民議連 (福山市)

 委員 平田 修己 自民議連 (三原市・世羅郡)	 委員 辻 恒雄 共産党 (福山市)	 委員 中原 好治 民主県政会 (広島市南区)	 委員 大島 昭彦 自民議連 (広島市東区)	 委員 西本 博之 自民議連 (東広島市)	 委員長 畑石 頭司 自民議連 (広島市東区)
 (11人)	 委員 宇田 伸 自民議連 (福山市)	 委員 砂原 克規 広志会 (広島市西区)	 委員 山下 智之 自民議連 (廿日市市)	 委員 西村 克典 民主県政会 (広島市安芸区)	 副委員長 石津 正啓 公明党 (福山市)

 (10人)	 委員 山崎 正博 自民議連 (広島市安佐北区)	 委員 東 保幸 民主県政会 (広島市安佐北区)	 委員 高木 昭夫 自民議連 (東広島市)	 委員 上田 泰弘 自民議連 (三原市・世羅郡)	 委員長 井原 修 広志会 (東広島市)
 (10人)	 委員 榎山 俊宏 自民会 (広島市安芸区)	 委員 児玉 浩 自民議連 (安芸高田市)	 委員 栗原 俊二 公明党 (広島市安佐南区)	 委員 福知 基弘 民主県政会 (広島市西区)	 副委員長 森川 家忠 自民議連 (竹原市・豊田郡)

 (11人)	 委員 宮 政利 民主県政会 (呉市)	 委員 宮本 新八 広志会 (山県郡)	 委員 河井 案里 自民会 (広島市安佐南区)	 委員 下森 宏昭 自民議連 (三次市)	 委員 伊藤 真由美 自民議連 (安芸郡)
 (11人)	 委員 高山 博州 公明党 (尾道市)	 委員 田川 寿一 自民議連 (広島市西区)	 委員 金口 巖 民主県政会 (尾道市)	 委員 狭戸 尾浩 自民議連 (大竹市)	 副委員長 鷹 廣 純 民主県政会 (広島市安佐南区)

 (10人)	 委員 山木 靖雄 自民議連 (広島市西区)	 委員 佐々木 弘司 自民議連 (広島市安佐南区)	 委員 下原 康充 草莽の会 (東広島市)	 委員 尾熊 良一 公明党 (福山市)	 委員長 石橋 林太郎 自民議連 (広島市安佐南区)
 (10人)	 委員 松浦 幸男 自民会 (尾道市)	 委員 犬童 英徳 民主県政会 (呉市)	 委員 富永 健三 自民議連 (広島市佐伯区)	 委員 松岡 宏道 自民議連 (福山市)	 副委員長 的場 豊 民主県政会 (福山市)

 (11人)	 委員 奥原 信也 自民議連 (呉市)	 委員 岡崎 哲夫 草莽の会 (府中市・神石郡)	 委員 緒方 直之 自民議連 (広島市東区)	 委員 桑木 良典 民主県政会 (三原市・世羅郡)	 委員 下西 幸雄 公明党 (呉市)
 (11人)	 委員 城戸 常太 広志会 (呉市)	 委員 中本 隆志 自民議連 (広島市南区)	 委員 内田 務 民主県政会 (福山市)	 委員 三好 良治 自民議連 (福山市)	 副委員長 窪田 泰久 自民議連 (広島市南区)

# 常任委員会の動き

6月27日  
開催

## 総務委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件、条例案二件  
その他の議決案件一件

原案可決並びに承認

諮問一件

「棄却すべきである」

新規付託の請願一件

採択

### 主な質疑事項

◆県立総合体育館については、県民が多様なスポーツを楽しむことができる中核施設としての役割を果たし、「スポーツを核とした地域づくり」の推進が図られるよう、これまでの成果と課題を踏まえ、次期指定管理者を選定する必要があること。

◆県有地信託事業の信託期間満了に向けた取り組みについては、より一層の借入金残高の減少策を講じ、県民負担を可能な限り軽減する必要があること。

【その他】  
ICTを活用した県庁の働き方改革の推進など

## 生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果

補正予算二件、条例案二件

原案可決

継続審査中の請願一件

継続審査

### 主な質疑事項

◆自然公園等の施設の遊具や樹木等について、災害を想定した定期点検を実施し、適切に管理する必要があること。また、より多くの人が自然と触れ合うことができる機会を創出するため、公園のあり方について検討する必要があること。

◆今後、介護人材として外国人労働者の増加が見込まれることから、適切に実習生を受け入れ、安心して生活ができる共生社会の構築に取り組み必要があること。

◆児童虐待件数の増加に対応できるよう、情報共有など関係機関との連携強化に努め、ハード、ソフト対策両面の充実にについて検討を進める必要があること。

【その他】  
障害者雇用に係る企業への支援制度など

## 農林水産委員会

付託議案なし

主な質疑事項

◆経年により排水機能が低下した水田については、中山間地域の実情を踏まえ、県独自の施策を展開するなど、市町や関係団体と連携して対応する必要があること。

◆農業の収入保険制度の開始に当たっては、従来の農業共済や野菜価格安定制度など類似制度との違いが比較できるソフトをホームページで提供するなど、生産者に十分周知する必要があること。

◆瀬戸内海における種苗放流事業は、漁業者などが負担する種苗費用に対する漁業者所得への効果を十分に分析すること。また、本県の水産業の振興に当たっては、他県の好事例を十分検討し、担い手が将来の生活設計を描ける経営を確立する必要があること。

【その他】  
カワウによる水産物への被害をはじめとする鳥獣被害対策など

## 建設委員会

付託議案の審査結果

補正予算三件、その他の議決案件一件

原案可決

### 主な質疑事項

◆広島高速五号線は地域住民の安全安心の確保と、トンネル工事の円滑な推進との調和を図るため、丁寧な対応とともに着実な事業推進に努めること。

◆安芸太田町の一般国道一九一号で発生したのり面崩壊に係る原因究明や本格復旧に向けた検討は、県内の多くの道路のり面の安全対策に関連するため、県民が安全・安心に道路を利用できるように、迅速かつ慎重に進める必要があること。

◆危険なブロック塀への対応を可能なものから速やかに実施し、県民が安心して暮らすことができる環境の実現に努められたいこと。

【その他】  
広島港の長期構想の検討など

## 文教委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件

原案可決

### 主な質疑事項

◆県立特別支援学校の教育環境の改善を図るため、今後の児童生徒数の推移や特別支援教育へのニーズを踏まえ、高等特別支援学校の設置も含めた方針を検討するとともに、中期にわたる具体的な整備計画を策定し、公表されたいこと。

◆県立広島大学の改革の検討については、現場の教員等の意見を反映させる取り組みを継続するとともに、議会に対し、検討の経過を丁寧に説明されたいこと。

◆開かれた学校づくりと住民の学校運営への参画を進め、地域の創意工夫を学校運営に生かしていくため、コミュニティ・スクールの普及を積極的に進める必要があること。

【その他】  
公立学校教員の未配置解消に向けた取り組みなど

## 警察・商工労働委員会

付託議案の審査結果

条例案一件

原案可決

### 主な質疑事項

◆地域通訳案内士制度の導入に当たっては、本県の有する観光資源の魅力を効果的に伝えることのできる人材を育成することで受け入れ環境の充実を図り、さらなる外国人観光客の誘致促進と満足度の向上に努める必要があること。

◆指定管理者制度の導入施設については、重大な事故等の未然防止や利便性向上を図るため、老朽化の進み施設の建てかえも含めた検討など、適切な維持・管理に取り組む必要があること。

◆暴力団の存在は県民に大きな不安感を与えているため、暴力追放広島県民会議と連携するなどの対策を講じ、県民生活の安全・安心を確保されたいこと。

【その他】  
広島県運転免許センターにおける親子室の整備状況など

# 特別委員会中間報告の概要

特別委員会は、特定の事項を審査・調査するため、必要に応じて本会議の議決によって設置されます。

## 地方創生・行財政対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### 地方創生・地方分権改革の推進

広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略については、社会経済情勢の変化に対応した施策が求められるため、深刻化している人材不足などの状況を踏まえて目標を設定し、施策の進捗状況が的確に把握できる指標の見直しを図ること。

#### 行政経営の質的向上

働き方改革の促進に当たっては、県庁がテレワークを大々的に展開するなど、先鋭的な改革を推し進め、柔軟で多様な働き方に率先して取り組むこと。

#### 安定的な税財政運営の確立

産業廃棄物埋立税については、その目的の達成に向け、事業を幅広く実施するなど県民がその成果を実感し、税徴収に対する県民理解を得るよう取り組むこと。

## 少子化・次世代育成対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### 少子化対策・子育て支援

ひろしま版ネウボラの完成形を早期に構築し普及を図るとともに、ネウボラを中心とした施策や事業体系を構築し、全庁横断的に推進していく必要があること。

また、専任のソーシャルワーカーについて、小中学校のみならず、乳幼児教育や保育の現場への配置を進めていく必要があること。

#### 幼児期から社会人まで一貫した人材の育成

広島叡智学園については、生活困窮層の子供も入学できるように、経済的な支援制度の導入を検討すること。

また、世代間の貧困連鎖防止対策については、ロードマップの作成などにより推進の道筋を明確にする必要があること。推進戦略の策定に当たっては、幅広い関係者の意見を踏まえ、庁内関係課が連携して検討すること。

## 平和推進・地域魅力向上対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### 本県を起点とした平和な国際社会の実現

核兵器廃絶に向けて、一人でも多くの世界の政治指導者に被爆の実相、平和の尊さなどを理解してもらうため、積極的に国際平和拠点ひろしまをアピールし、広島への訪問を要請すること。

#### 地域特性や資源を活用した本県の魅力の創出及び価値向上

サッカースタジアムの検討に当たっては、地元住民などと十分に意見交換を行い、候補地の比較検討を進めること。

また、本県を訪れる外国人がSNSなどを通じて多くの情報を発信できるように、無料WiFi等の環境整備を推進するとともに、外国人の活力も生かした地域社会の維持・発展に向け、外国人と共生できる地域づくりに取り組む必要があること。

## 広域・国際観光振興対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### 国内外からの観光誘客の促進

広島空港の国際線の搭乗率維持に努めるとともに、シンガポール線の就航を契機に他の東南アジア路線の就航に向けた取り組みを進めること。

また、東京オリンピック・パラリンピック、二〇二五年の誘致を目指す大阪万博などを見据え、戦略的な誘客策の検討を進めること。

#### 観光客の広域周遊・県内周遊及び観光消費の増大

文化やスポーツなどの体験型観光を振興するための素材の育成・開発に取り組むこと。

また、クルーズ客船の受け入れによる観光消費を伸ばすための取り組みやリピーター客の獲得に向けた長期的な取り組みを行うとともに、本県の観光をリードする専門性の高い観光人材の育成について検討すること。

## 産業競争力強化対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### イノベーションを通じた競争力の強化

IoT、AI等を活用した第四次産業革命の取り組みはグローバルな展開が可能であることから、積極的に県内企業を巻き込み、世界と直結したビジネスが展開されるよう支援するとともに、県民が効果を享受できるように取り組む必要があること。

また、集落法人については、設立に対する支援に加え、経営に対する支援の強化を図るなど、農業の発展に寄与するよう取り組むこと。

#### 海外ビジネスを促進する基盤等の整備

国家戦略特区の推進については、県民が特区の必要性やその成果を実感できるように推進すること。

また、本県産品や農林水産物の海外展開に当たっては、東南アジアやフランスなどへの展開の戦略を描き、取り組むこと。

## 社会基盤整備対策 特別委員会

### 当面議すべき主な事項

#### 災害に強いまちづくりの推進

防災・減災については、「八・二〇土砂災害 砂防・治山に関する施設整備計画」に基づく施設整備をさらに促進するとともに、タイムライン防災の活用など災害発生後の行動だけでなく、災害発生までの対応を明確にする取り組みを進めること。

また、防災情報メールの登録促進については、有識者による分析等を踏まえ、取り組みを強化すること。

#### 県民が安心して暮らせる地域医療介護体制及び生活環境の整備

がん対策については、長期的な推移のみではなく、「がん対策日本一」を掲げた以降の取り組みの効果を分析・検証し、がん検診受診率向上に向けた取り組みを強化すること。

## 紙屋町周辺地区活性化 推進特別委員会を設置

(七月二日設置)

紙屋町周辺地区の高次都市機能の強化や、官公庁街の土地利用のあり方などについて検討するため、特別委員会を設置しました。

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 委員長 緒方直之 | 副委員長 福知基弘 | 委員 鷹廣 純  |
| 委員 宮崎康則  | 委員 窪田泰久   | 委員 佐藤 一直 |
| 委員 森川家忠  | 委員 山下智之   | 委員 河井案里  |
| 委員 日下美香  | 委員 高山博州   | 委員 中原好治  |

## 議会運営委員会 (七月二日選任)

議会の円滑な運営を図り、各会派間の連絡調整を行います。

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 委員長 児玉 浩 | 副委員長 桑木良典 | 委員 出原昌直  |
| 委員 渡辺典子  | 委員 瀧本 実   | 委員 伊藤真由美 |
| 委員 尾熊良一  | 委員 西村克典   | 委員 沖井 純  |
| 委員 緒方直之  | 委員 安井裕典   | 委員 宮本新八  |

## 広島県議会の広報

### 広島県議会ホームページ

県議会のしくみや議員の紹介のほか、本会議や委員会の開催日程、議事録なども掲載しています。また、本会議等の模様をご覧いただけます。

### キッズサイト「みんなの県議会」

県議会ホームページ内のキッズサイト「みんなの県議会」では、そもそも県議会とは何かといった基本的なことや、県議会のしくみなどをわかりやすく説明しています。楽しみながら学べるクイズコーナーもあります。

リーフレット「みんなの県議会」は、議会事務局で配布しているほか、県議会ホームページからもダウンロードできます。

### テレビ広報番組「ひろしま県議会ダイジェスト」

本会議での質問や答弁などを、コメンテーターや記者による解説を交えながら紹介する三十分のテレビ番組です。県議会ホームページには過去の放送も掲載しています。



## お知らせ

● **本会議の傍聴**  
本会議の傍聴を希望される方は、開催日に議会棟一階の受付にお越しください。

● **親子傍聴室をご利用ください**  
小さなお子様と一緒に、専用の部屋で本会議が傍聴できます。

● **手話通訳を手配します**  
聴覚障害をお持ちの方が傍聴される際に、手話通訳をご利用いただけます。(要事前申込)

● **委員会の傍聴**  
委員会の開催日には、審議の状況を議会棟一階のモニターテレビでご覧いただけます。

【問合せ】議事課 〇八二一五一一三〇四七三二

● **本会議場の団体見学**  
本会議等の行事のない日は、本会議場の団体見学ができます。

【問合せ】総務課 〇八二一五一一三〇四七三二

● **「ひろしま県議会だより」の点字版・音声版**  
視覚障害をお持ちの方へ、「点字版」と「音声版(テープ版・デジ版)」の「ひろしま県議会だより」をお送りします。

【問合せ】政策調査課 〇八二一五一一三〇四七三二

## 巻頭写真撮影の高校生に感謝状を贈呈

本紙の巻頭写真を撮影した、県立高陽高等学校の田村瑠夏さんに、宮崎康則広報委員長が議長からの感謝状を贈呈しました。

その後、写真部の生徒たちが自信作を披露し、写真撮影時に工夫した点などのエピソードや、作品に込めた思いなどを紹介しました。



この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。  
ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。

あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-4743  
広島県議会事務局 政策調査課

FAX 082-222-9600 MAIL gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp

